



校長室だより

校長 山崎 聡子

2学期がスタートしました

本日から2学期がスタートしました。長い夏休みが明け、子供たちの元気な声が学校の中に響き渡っています。エネルギーに満ち溢れた子供たちの姿を見て、2学期を迎えることができたことに喜びと共に感謝の思いでいっぱいになりました。当たり前の日常が当たり前に迎えられることこそが幸せなことであると日々思っていますが、それは、嬉しい出来事や困難な出来事等、与えられる一つ一つの出来事を通して感じさせられるものであろうかと思えます。

当たり前に感謝して行動することの大切さを子供たちに伝えたいと思い、始業式にあたって、「命の授業」という本を書かれた腰塚勇人さんの「5つの誓い」を紹介しながら話をしました。

「5つの誓い」

- ・口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう
- ・耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- ・目は、人のよいところを見るために使おう
- ・手足は、人を助けるために使おう
- ・心は、人の痛みがわかるために使おう

「命の授業」腰塚勇人：ダイヤモンド社

腰塚さんは、中学校で体育の教師をしていた方です。スキーをしている際に、首の骨を折り、寝たきり状態になってしまったそうです。しかし、周囲の方の支えの中、御自身も懸命なりハビリを行った結果、歩くことができるようになったということ

です。「生きていることは当たり前でなく、生かされていること」に気付かされ、5つの誓いを立てられたとのこと。

子供たちには、上記の話の後に、自分に与えられて、当たり前に使っている、口・耳・目・手足・心を大切に使ってほしいと話しました。例えば、あなたの目を使って隣にいる友達の良いところを見つけ、あなたの口を使って、言葉にして伝えていく。あなたの足を使って、困っている友達のところへかけよっていき、あなたの手を使って、誰かの荷物を持つ。悲しんでいる友達や困りごとを抱えている友達の心に寄り添うことを心がける…。人を支えるために私たちができることがたくさんあるということをお話しました。

私たちは、一人一人の持つ力を出し合うことで繋がりが生まれ、その中でより良いコミュニティが創られていくと考えます。そういった視点も含め、「みんながいたから、いい時間を過ごすことができたと思える2学期をみんなで創り上げていきましょう」と結び、始業式の話を終えました。

子供たちは1学期からすてきな姿を見せています。今学期も、日々の出来事を通して、子供たちのもつ内なる美しさが輝く瞬間がたくさん溢れてくると思います。子供たちのすてきな姿を見出し、子供たちに伝えていきたいと思えますし、保護者の皆様地域の皆様と子供たちの成長を共有しながら、相武台東小学校をさらにより良い学校にしていきたいと思っています。

今学期も御理解・御協力賜りますよう、よろしく願い申し上げます。